



図書だより 11月号

2020年11月発行
睦合中学校
学校図書館

二十四節気の**立冬(りっとう)**を過ぎると暦の上では冬です。日が暮れるのも早く、夜が長いこの季節は読書が進みますね！ぜひ、学校図書館の本を借りてください。

なお、学校図書館の利用については、本を借りるための来館のみで、学校図書館の中に長く留まらないようにお願いします。また、入館する際には手洗いまたは消毒液で手の消毒をお願いします。

<お知らせ>

- ①忙しいときこそ、ブックデリバリー・返却BOXを利用してください。返却BOX・ポストは昇降口前の廊下に置いてあります。
- ②「どこでも図書館」は月曜日の昼休み、学校図書館の前で行っています。
- ③**新しい本**が入りました。図書だよりでも紹介しています。ぜひ、借りてください。

新着図書の紹介

「青の数学」

王城夕紀／新潮文庫nex

その数式(まほう)が、君の青春を変える。雪の日に出会った女子高生は、数学オリンピックを2年連続して制した天才だった。ひたむきな想いを、数学へとぶつける少年少女たちを描く、青春小説。



「遠くの声に耳を澄ませて」

宮下奈都／新潮文庫

淡々とした日常を一変させる「旅」という特別な瞬間は、気持ちを立て直し、決断を下す勇気を与える。人生の岐路に立つ人々をやさしく見守るように描く、瑞々しい12編の短編集。生徒からブックデリバリーにリクエストのあった「転がる小石」掲載の本。



「おかしな生きもの写真館」

ポール・ジョインソン・ヒックス&トム・サラム 編著
／二見書房

おなかいっぱいエサ箱から出られないキタリス。速度規制の表示を前に立ち止まるチーター。雪面ダイビングをきめるアカギツネ。めったに見られない野生動物のおかしな姿を、みごとに捉えた写真集。



<10月の貸出の利用状況>

【借りた人数】

1年生	52人	合計106人
2年生	28人	
3年生	26人	

【貸出冊数】

1年生	77冊	合計166冊
2年生	52冊	
3年生	37冊	



ブックデリバリー ご利用ください！

本をあなたの元に届けます。

※昇降口前に、「返却BOX」と「ブックデリバリー受付BOX」を設置しました。

- ①昇降口前に、「ブックデリバリーおすすめリスト」を掲示します。リストの中から本を選ぶか、リスト以外でも借りたい本を書いてください。（「こんな本ありますか？」「こんな本が読みたい！」というリクエストには、学校司書が本を選びます。）
- ②申込書に「学年・組・名前」「本のタイトル」「記入日」を記入して、「受付BOX」に入れてください。
※申込書とBOXは昇降口前の廊下にあります。
- ③申込みのあった本は、クラスボックスから本人の元に届きます。
- ④本の返却は、昇降口前の「返却BOX」に入れてください。
- ⑤予約の本もデリバリーできます。

< 11月のブックデリバリーおすすめリスト >

今月の特集は「映画・ドラマになった小説」です。

No.	本のタイトル・作者・出版社	おすすめポイント
1	『小説の神様』 相沢沙呼／講談社タイガ文庫	学生で作家デビューしたものの、発表した作品は酷評され売り上げも振るわない一也(いちや)。物語を紡ぐ意味を見失った一也の前に現れた、同い年の人気作家・詩風(しいな)。二人で小説を合作するうち、一也は彼女の秘密に気がつく。彼女の言う“小説の神様”とは？
2	『ルパンの帰還』 横関大／講談社文庫	警視庁捜査一課で活躍する和馬と、泥棒一家に生まれた華が結婚して、娘が生まれた。和馬の部下に配属された新人刑事は、京都の老舗探偵事務所の娘・北条美雲。パディを組んだふたりが直面する事件とは？「ルパンの娘」シリーズの第2弾。
3	『か』『く』『し』『ご』『と』 住野よる／新潮社	みんなには隠している、ちょっとだけ特別なちから。クラスメイト5人の「かくしごと」が照らし出す、お互いへのもどかしい想いを描く。眩しくて時に切ない、共感度No. 1の青春小説！
4	『小説パーフェクトワールド 君といる奇跡』 有沢ゆう希／講談社文庫	この世界は不完全、君がいなければ。つぐみは、偶然初恋の先輩・樹(いつき)に再会する。樹は車イスに乗り、もう恋愛はしないと言うが…。誰もが困難を乗り越える勇気をもらえる、胸を打つ恋物語。
5	『サクラダリセット 1 猫と幽霊と日曜日の革命』 河野 裕／角川文庫	「リセット」という言葉で、世界は三日分死ぬ。能力者が集う街、咲良田(さくらだ)に生きる、時間を巻き戻す少女・美空と、記憶を保持する少年・ケイ。繰り返す日常は、若者たちに何をもたらすのか？
6	『アイネクライネナハトムジーク』 伊坂幸太郎／幻冬舎文庫	奥さんに愛想をつかされたサラリーマン、他力本願で恋をしようとする青年、元いじめっ子への復讐を企てるOL。情けないけど愛おしい、ごく普通の人たちが巻き起こす、小さな奇跡の物語。連作短編集。
7	『ポプラの秋』 湯本香樹実／新潮文庫	父が急死して、母と幼い私は大きなポプラの木のあるアパートに引っ越した。こわそうな大家のおばあさんは、私に不思議な秘密を話してくれた…。あたたかな再生の物語。
8	『燃えよ剣 上』 司馬遼太郎／新潮文庫	幕末の動乱期を新選組副長として、剣に生き剣に死んだ男、土方歳三の華麗なまでに頑な生涯を描く。作者・司馬遼太郎の「竜馬がゆく」と並ぶ、“幕末もの”の頂点をなす長編。
9	『若草物語 1 仲よし四姉妹』 オルコット・作 谷口由美子・訳 ／講談社青い鳥文庫	舞台はアメリカ、南北戦争の時代。メグ、ジョー、ベス、エイミーの仲良し四姉妹がおくる、クリスマスから始まる涙と笑いと愛に満ちた1年間の物語を、読みやすい新訳で。
10	『ドリトル先生航海記』 ヒュー・ロフティング・作 河合祥一郎・訳 ／角川つばさ文庫	動物とお話ができるお医者さん、ドリトル先生。博物学者でもある先生は、世界中を探検する。今回は、海をぶかぶか流されていくクモザル島を目指す船の旅！ シリーズ第2巻。